

救急科

当科の 救急診療体制のご案内

～救急医療から地域をサポート、遅滞のない診療体制の構築～

救急科 新体制

佐藤 副部長

新規配属：救急・集中治療専門医

日中は救急専門医（非常勤）と
医師2名体制で迅速に初期治療と
トリアージを実施

各科医師と密に連携しシームレスな診
療を実現します。

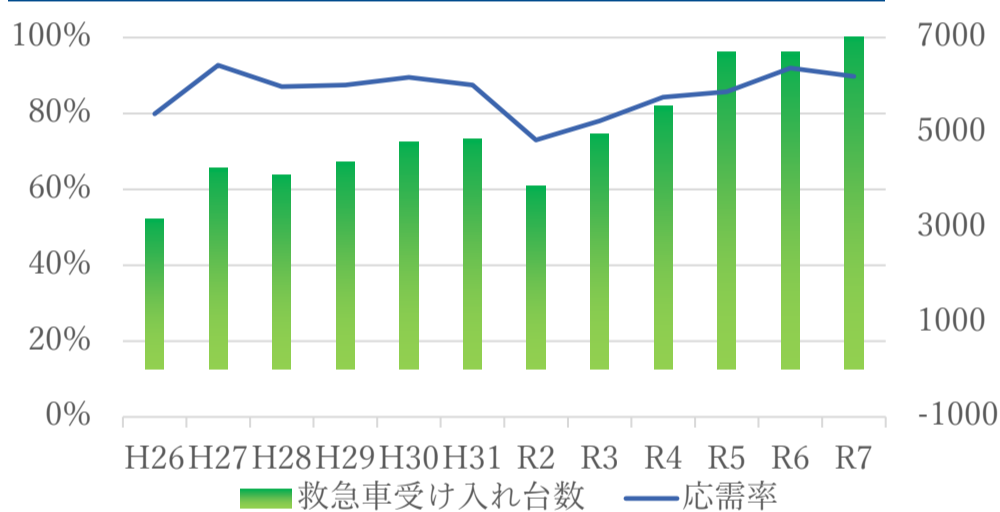


救命士 3名体制

昨年度より院内救急救命士3名が配属。
救急車応需、患者搬送、処置のサポート
を強化しています。

看護師と協力し多数の救急患者を同時
に診療する体制が強化されています。

受け入れ実績と応需体制



2025 年度

救急車受入数

7,071 台

応需率

89.8%

働き方改革の推進

夜間外勤当直の導入により、当直医の
負担を軽減しつつ、
24 時間体制での高い応需率を維持して
います。

診療フロー

1. 救急搬送・Walk-in

内科疾患・外傷ともにまずは救急科で受入。
救急開始による初期診療・評価。
その後の治療方針の整理。
(外来フォロー、逆紹介)

2. 専門診療科との連携

必要があれば、循環器、脳神経、消化器領域
などの医師にコンサルト。
専門治療の必要のない患者さんでも入院治療
に各科で対応（未分類）。

専門科オンコール体制

常勤医のオンコール体制も整備し、
夜間でも冠動脈・脳血管カテーテル
や内視鏡などを遅滞なく提供しま
す。

※医療連携室を通した各科への直接の紹介も受け付けています。

内科疾患から外傷まで幅広い患者さんの初期診療を行います！



52 歳男性 バイク事故
右肩関節骨折、脛骨骨折、
中足骨骨折
→整形外科で Ope
外来でリハビリ中



100 歳女性 意識消失
胆石性膵炎 アミラーゼ 1200 台
→消化器内科で ERCP
2 週間後自宅退院



大森赤十字病院

日本赤十字社

赤十字は、動いてる! 日本赤十字社